

教材紹介：2022年3月 オノマトペでアートしよう！

狙い・ターゲット：

オノマトペアートで言葉の世界を広げよう！



使用教材

- 1) 画用紙、色鉛筆、乾くと透明になるボンド
- 2) 5mmくらいの幅に切った細長い画用紙又は折り紙
- 3) 紙を丸めるための細い棒
- 4) 目玉シール

内容

- 1) 下絵は予め大人が用意しても良いでしょう。  
絵がかけるお子さんには自由に描いてもらいましょう
- 2) 上の絵は、春の野原でひなたぼっこをしている羊さんの絵です。羊さんと景色の様子をお子さんと話し合ってみましょう。  
「体が“もふもふ”しているね。」「雲が“フワフワ”浮かんでいるね。」「お顔の毛が“グルグル”巻きだね。」「芝生は“ツンツン”しているね。」などです。
- 3) その絵に描かれた動物やモノの様子を細長い紙を加工して表現してみましよう。
- 4) お子さんとオノマトペをいろいろ出し合った後、アート作品にしてみましよう。フワフワな雲は写真では和紙をちぎって貼っていますが、和紙がなければティッシュをちぎって貼ってもフワフワ感が出せると思いますよ。
- 5) 羊以外にもくねくねしたへびさんや、ギザギザしたたてがみのライオンさんや、プクプク泡を出す金魚さんなどオノマトペで表現出来る動物達は沢山いますね。

補足

日本語は他の言語と比べてオノマトペが豊富です。日本語には1000語以上も存在すると言われています。英語と比べて動詞が少ないからその分オノマトペが多い、と言う説もあるようです。  
オノマトペは音と意味合いが直結しているのも特徴です。小さなお子さんでも音を聞いてなんとなく様子がイメージできますね。それを工作で表現してお子さんと楽しみながら言葉の世界を広げていってくださいね。